

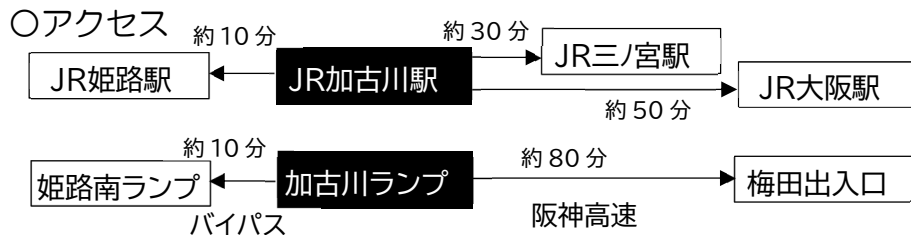
JA 兵庫南 志方いちじく部会 就農定着応援プラン

作成：令和5年1月19日

地域の概要

1 位置

兵庫県の東播磨地方の中心部に位置する加古川市。一級河川加古川の水の恵みを受けて発展してきた都市です。



2 人口

加古川市の人口約26万人のうち、志方町には約1万人が生活しています。

3 気象の概要

年間を通して、天気や湿度が安定した温暖な瀬戸内海式気候で、比較的雨が少なく特に8月の降水量が少ないことが特徴です。

4 地域の農業

加古川市の農業は、北部地域を中心に集落営農組織による農地の有効利用が図られ、温暖で災害も少ない恵まれた気候のもと、水稻、麦、大豆等が生産されています。

また一方で、都市近郊の立地を生かしたイチゴやトマトなどの施設野菜や、キャベツなどの露地野菜、いちじく、ぶどう等が生産されています。

5 加古川市志方地域の概要

志方地区は加古川市北西部に位置し山に囲まれている地域です。

地区の東部では、集落営農組織により水稻、麦、大豆、キャベツが生産されており、北西部でいちじくの栽培が行われています。

また、休耕田を利用したコスモスまつりや秋祭りなど、地域を盛り上げるイベントも開催されています。



JA 兵庫南いちじく部会の概要

志方地域のいちじく栽培の歴史は古く、1960年代から始まっています。

最盛期は30名程の生産者で約3ha栽培し、約50t出荷していました。

令和3年には新たな部会員3名の加入があり、若い生産者も増えています。



土づくりや、適期防除による品質の向上と統一にこだわっています。

農薬の使用量を抑えて栽培していることから、2006年には「ひょうご推奨ブランド」に認証され、消費者からの人気も上々です。

- 部会員数 8名
- 品種 榊井ドーフィン
- 栽培面積 1.5 ha
- 出荷時期 8月上旬～11月上旬
- 出荷量



年度	面積	朝出し出荷量	レギュラー出荷量	合計
R1	123.4 a	6,740 パック	43,812 パック	50,552 パック
R2	133.2 a	4,920 パック	40,570 パック	45,490 パック
R3	121.5 a	2,300 パック	26,934 パック	29,234 パック
R4	150.0 a	2,640 パック	38,891 パック	41,531 パック

※1パック400g [S：7個、M：6個、L：5個、2L：4個、3L：3個]

- 出荷先 姫路大同青果株式会社
JA 兵庫南ふぁ～みん SHOP 各店舗
- 品質向上のための「朝どり」
品質保持のため、果実の温度が高まる前、早朝に収穫作業を終えます。
朝出し出荷の場合は、6時30分～7時に集出荷場へ搬入し、JA職員による検品後、7時30分には市場へ出荷されます。
(レギュラー出荷は、14時30分に集出荷場搬入です)
- 部会の主な年間スケジュール
栽培講習会（年数回）
出荷目合わせ会（8月）
出荷反省会（11月）
総会（3月）



いちじく経営のモデル

(1)栽培概要

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	ほ場準備					追肥					石灰・堆肥	
	穂木・苗木確保		定植挿木		芽かき・誘引							
2年目以降	せん定	元肥				追肥	追肥	追肥				
					芽かき・誘引		摘芯	収穫・出荷			園清掃	
					灌水		灌水					
						病虫害防除						

[樹間：2.2m×6m 栽植密度：80本/10a]

ほ場選びのポイント

- ① 排水が良好で、日当たりがよいほ場を選びましょう。いちじくの根は、酸素要求量が多く、耐水性が弱いため、排水がよいほ場を選び、うね立て、排水路の整備が必要です。
- ② 水分要求量が多く、乾燥に弱いため、かん水に便利なほ場を選ぶ必要があります。畝を高めにして排水路を準備し、明きよ・暗きよの整備が望ましいです。
- ③ くぼ地や谷筋にある冷気がたまりやすいほ場は凍害を受けやすいので避け、冷気のたまり場にならないほ場を選びましょう。
- ④ いちじくの根は浅く、葉が大きいので強風による倒木、枝の折損、葉ずれによる果実の傷など風に弱いので、できるだけ風当たりが少ないほ場を選ぶ必要があります。

1年目

前年の秋から園地の土づくりをして、準備を行います。3月に苗木を定植し主枝を伸ばします。植付け1年目は実をつけず、樹を充実させます。育成した主枝は、翌年一文字に誘引します。

2年目以降

いちじくは適熟期が短いので、果実のやわらかさや果皮色をみて適期を逃さないよう収穫することが重要です。



決められた期間中は、1割程度を朝出し出荷することになります！

1日の収穫・出荷作業スケジュール例

[朝出し出荷]

- 4:00 収穫
- 5:00 出荷準備 (パック詰め)
- 6:30 出荷 (集出荷場へ搬入)

[レギュラー出荷]

- 7:00 収穫
- 10:00 出荷準備 (パック詰め)
- 14:00 出荷 (集出荷場へ搬入)

(2) 主な施設、機械

- いちじく棚（防鳥ネット、電柵など含む）
- 耕運機
- 農薬散布機
- 作業用台車

作業場も
必要です！



(3) 経営収支例（10a 当たり）

<売上げ>（目安）

いちじく 2,400,000 円 (①)
収量：3,000kg 単価：800 円/kg

<経費>（10a 当たり）

通常経費 610,000 円 (②)

肥料農薬等 160,000 円
出荷資材費 130,000 円
販売手数料 200,000 円
修繕費 10,000 円
減価償却費 110,000 円

初期経費 2,500,000 円

いちじく棚（約 1,000,000 円/10a）

耕運機 } 約 1,500,000 円

倉庫

軽四トラック

動力噴霧器

JA等による
助成がある場
合があります。

<所得>（10a 当たり）

1,790,000 円 (①-②)



いちじくは収穫期に最も
労力を必要とします。
はじめは家族2人で10a
くらいから始めるとよいで
しょう。
30a以上の経営になると
収穫期にはアルバイトなどの
雇用を考える必要があります。

例① 先輩農家Mさん（41歳）

- 平成25年経営開始（栽培面積：30a）
- 経営開始10年目
- 労働力 本人（収穫期のみ家族2人が作業）
父からいちじく園を継いで栽培をはじめました。はじめは10aの栽培面積でしたが、少しずつ規模を拡大し、今では30aを栽培しています。はじめは周りの部会員に教えてもらいながら栽培技術を身に付けることができました。今では、新しくいちじく栽培を始める人に指導しながら、志方いちじくを広めるため栽培面積の拡大を目指しています。



例② 新規就農者Yさん（35歳）

- 令和3年10月経営開始（栽培面積：30a）
- 経営開始1年目
- 労働力 本人、夫
いちじく栽培に興味があり、栽培を体験したいと思いインターンシップ事業を活用して親方農家の下で研修を受けました。



就農後は、地域の担い手定着応援事業を活用し、親方農家による指導を受けることができました。わからないことがあれば部会の先輩方にはいつでも教えてもらうことができるとても心強いです！

例③ 新規就農者Aさん（58歳）

- 令和4年3月 経営開始（経営面積10a）
地元の志方で特産品のいちじくを栽培したい！と思い、仕事を辞めることにし、就農を決意しました。親が兼業農家で、これまでは1haの田んぼの管理を手伝っていました。いちじくは少ない資金で栽培を開始することができ、植え付け後早い段階で収穫が可能となることから、経営品目にいちじくを選びました。作業に必要な機械も少なく、年金をもらいながら定年後の栽培に適していると感じました！
栽培を開始する前から、近隣の部会員が様子を見に来てくれ、いろいろ教えてもらっています。令和5年にはさらに栽培面積を10a増やす予定です！



★いちじく栽培未経験者でも、インターンシップ事業を活用し、親方農家の指導の下、研修を受けることができます！

求める新規就農者



志方でいちじくを栽培し、産地を盛り上げてくれる方！

いちじくを栽培してみませんか！

部会の仲間と共に、志方のいちじく産地を盛り上げていきましょう！

栽培技術や販売について、部会が全面的にバックアップします！



部会に加入し部会へ出荷する方！

部会の栽培暦に従って栽培し、販売は原則、JA部会出荷となります。

もちろん、柘井ドーフィン以外の品種は個人出荷もOKです！

（JA兵庫南の正組合員に加入していただくこととなります。）

農業に興味のある方♪

いちじくは比較的少ない初期投資で始められます！

また、2年目から収穫が開始でき、約3年で安定した収量が見込める作物です。

収穫期間は8月～10月にかけて続き、多くの時間と労力を必要としますが、他の時期は軽微な作業となるため、農作業に慣れていない若い方も、定年後の方にも適しています！

1～2年前から準備を始めれば、すぐに安定した収穫が始められます。

就農する準備を整えましょう。

栽培を開始するのに必要な資金を準備しておく必要があります。

また、技術習得や農地・住居の確保が必要となります。部会などのサポートを受けながら準備を進めることができます！



就農者への支援体制

JA兵庫南 志方いちじく部会	<ul style="list-style-type: none">• 農業体験サポート• 農地確保サポート• いちじく栽培技術指導
JA兵庫南 加古川営農経済センター	<ul style="list-style-type: none">• 農業支援制度• 農地確保サポート• 農産物生産、出荷指導
加古川市（農林水産課）	<ul style="list-style-type: none">• 就農相談• 農業支援制度• 空き家活用等の支援 移住・定住促進（まちづくり指導課） 空き家活用改修（住宅政策課）
兵庫県東播磨県民局 加古川農林水産振興事務所 加古川農業改良普及センター	<ul style="list-style-type: none">• 就農相談• 農業支援制度の情報提供• 農業経営、技術指導



お問い合わせ

JA兵庫南 加古川営農経済センター

〒675-1203 加古川市八幡町船町 16

TEL : 079-438-3930

